

■明け行く罪の一夜 (五卷)

帝キ本 芦屋現代映畫

原作者
監督者
撮影者

水町 恭一 耶氏
松本 英一 氏
二宮 義曉 氏

主演者

松本 泰輔 氏
吉田 豊作 氏

紹介

慾を云へば限りはないが筋も可成スラ／＼運ばれ其内に充分人情味を漂せ人間愛に満ちた警官の一面をよ／＼描き出してゐる。しかし余りに冷たく暗い方面ばかりを見せすぎたため全體が如何にも冷たい淋しいものになつて居る。警官の大きな愛により相當に救はれてゐる。破獄して来た父「幼児が自分の御飯をさいて與へて邊りは女客の涙を絞らせるに充分であらうし、しかしラステーションに丘の上に子供を三人立たせ、等は余り良い趣味ではない、寧ろ滑稽に近い。吉田豊作氏の吉本巡査は押出しもよく人情も充分に現はれ其人らしく非常に良い。併し所謂田舎巡査としてけ服装や住宅等から推して少し裕福すぎはしないか。松本泰輔氏の與吉も實に熱心な演出「見ろ者に汗を掻かせて居るが、少し誇張が過ぎて自分の演技にひきずられて動いて居る感がある。松葉くみ子嬢のお慶は監督の云ふまゝによ／＼動いて居ると云ふりも寧ろ若い娘にあつた嫌ひがある。性的な判断力を要求した方が無理なのかもしれない。先づ全體としてまつた人情劇である。

——津田 時雄——

興行價値——華か々寫真ではないが人情味豊であるから充分客を泣かせる事が出来る。
(五月十三日 大阪青邊劇場 神戸相生座封切)